



むつ類伊豆諸島周辺海域

評価対象種：ムツ類（伊豆諸島海域）

令和6年4月

資源の水準と動向「低位・横ばい」

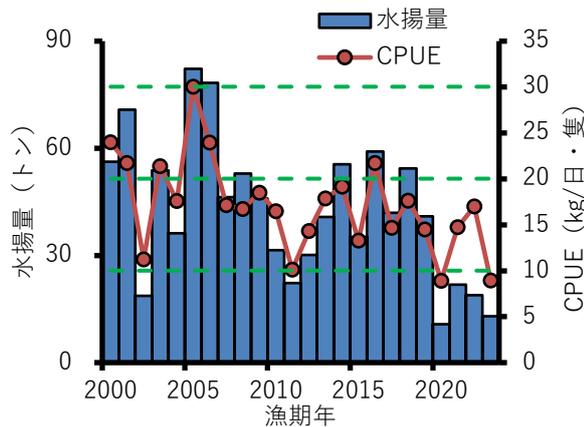


図1 水揚量と CPUE の推移

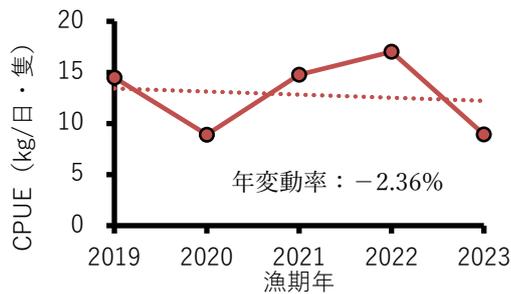


図2 底魚一本釣り CPUE の年変動率

2000年以降の伊豆諸島海域におけるムツ類（ムツ・クロムツ）の水揚量は、2005年に最大値の82トンとなり、その後は22～78トンで推移していたが、2020年以降は25トン以下となった。CPUE（底魚一本釣り漁業1日1隻あたりの水揚量）は2005年に最大値の30.0 kg/日・隻となって以降減少し、直近5年間は8.9～17.0 kg/日・隻で推移した（図1）。

本資源評価票での資源量指標値はCPUEとした。2023年における資源の水準は、CPUEが最大値であった2005年の30.0 kg/日・隻の1/3未満である8.9 kg/日・隻のため「低位」とした（図1）。

資源の動向は、直近5年間のCPUEから算出した年変動率が-2.36%となり、年間±5%以上の増減でないため「横ばい」とした（図2）。

生態学的特性

- 分布・回遊：ムツは、北海道以南から台湾までと広く分布するのに対して、クロムツは北海道以南から伊豆諸島海域にかけての太平洋に分布する¹⁾。
- 年齢・成長：最大標準体長はムツで88.0 cm、クロムツで51.4 cmと推定される²⁾。
- 成熟・産卵：クロムツは伊豆諸島海域にて産卵するのに対し、ムツは東シナ海大陸棚縁辺部で産卵するとされる¹⁾。
- 被捕食関係：ムツについて、稚魚は動物プランクトン、成魚は深海性魚類を捕食するとされる³⁾。

東京都におけるムツ漁

- 漁業：主に伊豆諸島海域で周年漁獲される。
- 漁法：底魚一本釣りにより漁獲される。
- 管理：新島および神津島では、底魚一本釣り漁業で漁獲される本資源について東京都資源管理方針に基づく資源管理協定を策定し、自主的資源管理（休漁日の設定）に取り組んでいる。

- 1) Takai, N., Y. Kozuka, T. Tanabe, Y. Sagara, M. Ichihashi, S. Nakai, M. Suzuki, N. Mano, S. Itoi, K. Asahina, T. Kojima, and H. Sugita. 2014. Habitat use of the gnomefishes *Scombrops boops* and *S. gilberti* in the northwestern Pacific Ocean in relation to reproductive strategy. *AQUATIC BIOLOGY*, (21) : 109-120.
- 2) Mochizuki, K. 1979. Age and Growth of the Two Japanese Scombropids, *Scombrops boops* and *S. gilberti*. 魚類学雑誌, 26 (1) : 62-68.
- 3) 木村清志・井上慎吾・鈴木清. 1982. 熊野灘におけるムツの食性. 三重大学水産学部研究報告, 9 : 191-199.